これまでの市の取り組み

講演会の開催

先進地である高知県から、大学教授などを講師にお招きし、実例を踏まえた講演を行いました。スマート農業をより身近に感じてもらうため、農業者をはじめ企業を対象とした取り組みを行っています。

共有会議の開催

個々の環境や生育データなどを生産者間で共有しつつ、毎月フィードバックしながら栽培環境の改善を目指しています。また、この会議には、営農指導員や普及指導員も参画することで伴走支援体制の強化を図っています。

協議会の設立

事業の定着や拡大には、専門知識を有した技術指導者の育成が重要なため、新たな体制を構築し、効率的で持続可能な農業を推進するための協議会を設立。農業従事者が最新の技術情報を適切に活用できる環境を提供します。

購入補助事業

スマート農業を加速するため、今年度より農業機械等購入支援事業に「スマート農業枠」を新設し、環境測定装置の購入補助を開始しています。

※令和７年度の受け付けは終了

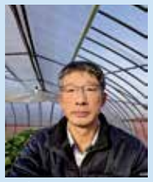
先進地の視察

データ駆動型スマート農業の取り組み状況と今後のさらなる技術革新に向け、伊達市データ駆動型スマート農業推進協議会により先進地視察を実施し、事業展開のロードマップ構築と各種課題の整理をしています。

利用者の声

農家はみんな技術者 良いもの作る行為に興味が無いわけがない

取り組みを始めるまでは、農業は経験則が一番であり、数値そのものは意識すらしていなかったと思います。もちろん経験則は重要ですが、それを他人に伝えるという面ではスマート農業はとても有効だと思いました。同業者で正しく情報共有ができれば、地域全体の農業は良い方向に向かうと思います。



須田（すだ） 紀之（のりゆき） さん

スマート農業は将来的に主流となる

従来、１人あたりの労力や栽培面積の見直し、長期栽培による収入アップが課題にありました。環境測定装置の導入コストはかかりますが、それ以上の収量アップ、品質向上、長期栽培などのメリットがありました。データ駆動型スマート農業の推進で、後継者を育てやすい地域になってほしいです。

末永（すえなが） 孝（たかし） さん

※このスペースは有料広告です。詳しくは、秘書広報課（☎ 575-1113）にお問い合わせください。

問 農政課農政企画係 ☎ 573-5635

ベテラン農家の経験を継ぎ、産地の未来のために！

長年の経験や勘が重要となる農業。簡単ではないからこそ、高齢化が進む現代では、後継者不足や農業従事者不足が大きな問題になっています。夏秋キュウリやあんぽ柿、イチゴ、シャインマスカット、モモなど、誇り高い“伊達市産”を守っていくために、伊達市の農業を支えるベテラン農家さんの『勘』をデータ化し、誰もが農業に取り組みやすい仕組みづくりを進め、産地の強化を図っています。

生育環境を測定して見える化！

環境測定装置を設置しておくことで、温度や湿度、二酸化炭素濃度、日射量など、さまざまな環境状況を数値として見ることができ、一元的な管理が可能となります。

観測データはスマホなどで確認することができ、現状だけでなく過去のデータを遡って確認することもできます。

価格　約 10 万円～ 30 万円程

▲環境測定装置

測定モニター画面▶

農政課
担当職員

導入するとメリットたくさん！

メリット①

最も収穫量が多かったときの数値を参考にすれば、安定した収穫量を維持できる。

＋

メリット②

他の農家の数値を参考にすれば、最適な収穫時期が判断できる。

＋

メリット③

作物ごとの最適な生産方式が明確になり、後継者や新規就農者にも受け継ぎやすい。

＝

地域全体で、高品質な農産物の収穫量を増やすことができ、

ラクに、楽しく、儲かる農業が実現！

※このスペースは有料広告です。詳しくは、秘書広報課（☎ 575-1113）にお問い合わせください。